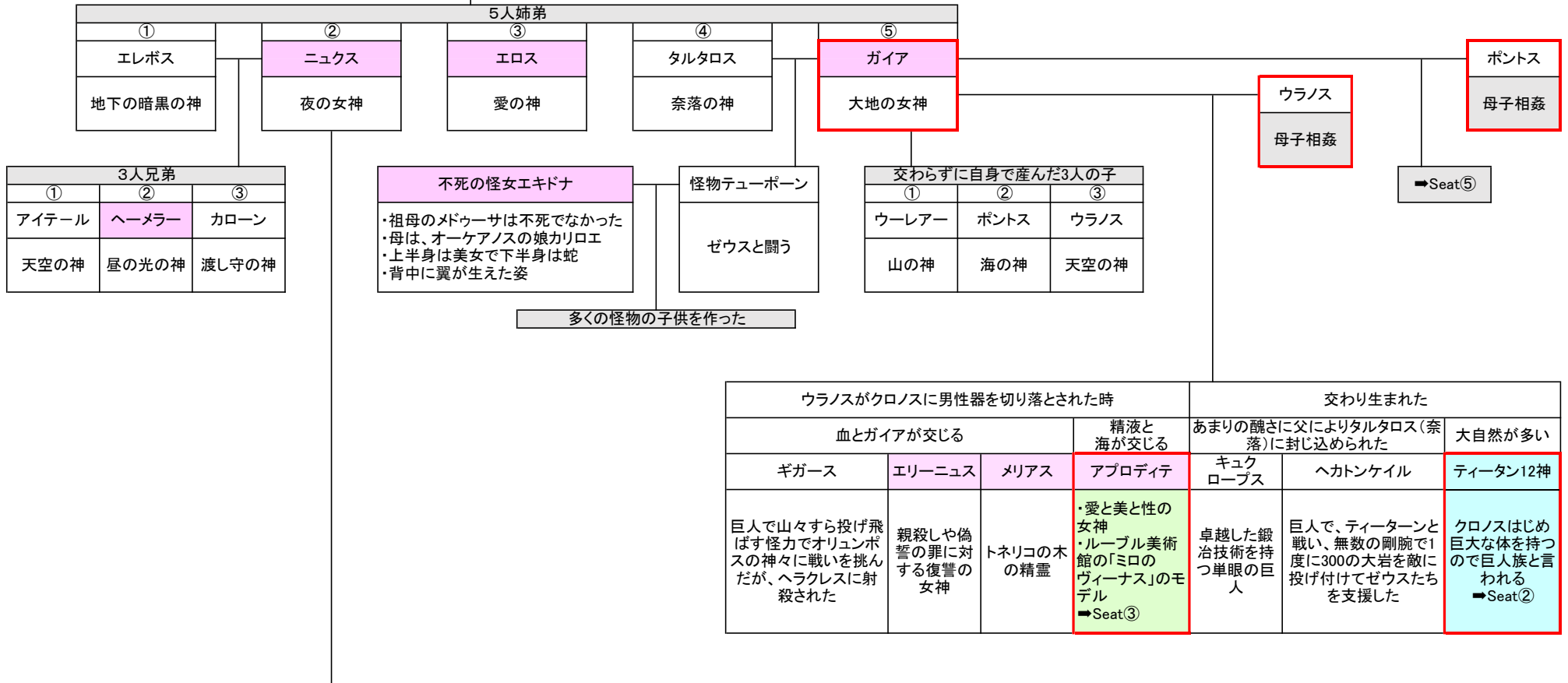


系図によるギリシャ神話(シート①)……カオスの5人の子供

注釈	オリュンポス12神
ティータン12神	女神

カオス(混沌)

ギリシャ神話における原書の神で、「混沌」として世界から世界が始まり、「大地」が現われ、「奈落」、「地下の暗黒の世界」、「夜の世界」、「愛の世界」を、子供を作る形で人間の持つ概念を神格化していく



交わらずに産んだ16人の子

① モロス 死の定業、運命を司る神	② ケール 戦場で死をもたらす悪霊	③ タナトス 亡者の王	④ ヒュプノス 眠りの神	⑤ オネイロス 夢の神	⑥ モーモス 非難の神	⑦ オイジュス 苦悩の神	⑧ ヘスペリデス 黄昏のニンフ達	⑨ ⑩ ⑪ モイラ クローター 糸紡ぎの女神 ラケシス 寿命の女神 アトロポス 運命の女神			⑫ ネメシス 義憤の神	⑬ アパテー 欺瞞・不実の女神	⑭ ピロテース 愛欲の女神	⑮ ゲーラス 老年の神	⑯ エリス 不和と争いの女神 ・黄金の林檎を投げ入れトロイ戦争を引き起こした ⇒Seat「アントロメ」
								・運命という寿命の3女神 ・北欧神話では、モイラをノルンという							